

棚田オーナー制度による 田植え・収穫祭

・福岡県/うきは市
・開催時期：田植え5月下旬の土曜・日曜日、収穫祭9月中旬の土曜・日曜日

日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産の棚田オーナーとなり農作業、農村の祭りを通じて農村を体験！

体験学習等のイベント内容

- ・日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産に選ばれている「つづら棚田」で、棚田オーナーの田植祭りを開催しています。
- ・オーナー約70組が数枚の棚田に分かれて、地元農家の指導を受けながら1本1本丁寧に田植を行っています。
- ・また、他にも年間を通じて収穫祭などの様々なイベントを棚田オーナーと行っています。
- ・米の収穫時期には彼岸花と黄金に輝く稲穂のコントラストは息を飲む景色となっています。



田植え体験の様子

取組主体の紹介

つづら棚田保全協議会

棚田を保全するために地区の住民で組織され、田植えや稲刈りなどの農業体験や交流を通し、棚田の持つ環境保全の効果や農村文化を次世代に伝える活動を行っています。

イベントに参加するには

棚田オーナーの募集は毎年1月頃に行っています。入会希望の方・興味のある方は、以下の問い合わせ先まで。

- ・取組主体等：うきはブランド推進課地域振興係
- ・問合せ先（TEL等）：0943-76-9059(TEL)

・参考URL
<https://www.city.ukiha.fukuoka.jp/kiji0036210/index.html>



つづら棚田の景観

棚田での田植え、 稲刈り体験

・福岡県／朝倉郡東峰村
・開催時期：田植え6月第2日曜日
稲刈り10月第2日曜日

日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産にも選定される魅力的な景観
+ 農業体験 + 山の幸を使用した美味しいご飯で農村を満喫！！

体験学習等のイベント内容

- ・日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産に選ばれている竹棚田で、田植え体験とあわせてジャガイモ収穫体験、稲刈りとあわせてサツマイモ収穫体験を実施しています。
- ・体験に参加すると、山の幸を使った料理や、棚田で収穫したお米で作ったおにぎりなどを昼食として食べることができます。
- ・また、6月の「棚田の火祭り」、11月は「秋あかり」など様々な交流イベントを行っています。



収穫体験の様子

取組主体の紹介

竹地区棚田景観保全委員会

棚田を保全するために地区の住民で組織され、田植えや稲刈りなどの農業体験や交流を通し、棚田の持つ環境保全の効果や農村文化を次世代に伝える活動を行っています。

イベントに参加するには

Facebookや東峰村ツーリズム協会のHPで募集をしています。

・取組主体等：竹地区棚田景観保全委員会

・問合せ先（TEL等）：竹地区棚田保全委員会への連絡先は以下の参考URLに記載されています。

・参考URL：竹地区棚田景観保全委員会のFacebookはGoogle検索等で見つけることができます。東峰村ツーリズム協会HPは <https://toho.main.jp/tanadaaki/> です。



11月開催の秋あかりの様子

重要文化的景観、日本の棚田百選の棚田を保全するボランティア活動、交流イベントで農業農村を体験！

体験学習等のイベント内容

- ・蕨野の棚田は高さ8.5mの日本一の高石積などがあり、「重要文化的景観」、「日本の棚田百選」、「つなぐ棚田遺産」にも選定されています。
- ・この蕨野の棚田を活かし、6月に「早苗と棚田」ウォーキングin蕨野や、10月に「ふるさとの灯りコンサート」などの都市住民との交流イベントも開催しています。
- ・また、大学や企業の外部支援を受けた棚田保全のボランティア活動も行っています。



大学生による稲刈りの様子
(2020棚田ボランティア活動 佐賀大学「手間講隊」)

取組主体の紹介

NPO法人蕨野棚田を守ろう会

蕨野の棚田と里山を保全し、後世に引き継いでいくための活動を行うとともに、都市との交流を通じた地域の活性化、及び全国の棚田保全運動の支援に寄与する活動を行っています。

イベントに参加するには

イベントへの参加を希望する方・興味のある方は、以下の問い合わせ先まで。

・取組主体等：唐津市相知市民センター産業・教育課

・問合せ先：0955-53-7125

・参考URL <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00320876/index.html>



交流イベントの様子
(2019ふるさとの灯りコンサート)

農作業、楽焼体験、棚田米での純米酒で農業農村を満喫！

体験学習等のイベント内容

- ・過疎化などにより荒廃したすみやま棚田を8年がかりで整備し、田植え及び収穫体験による交流者増加と純米酒の生産販売などを実施しています。
- ・参加者は、企業ボランティアと一緒に田植えや、収穫体験を行います。また、当日の昼食のお弁当のほか、特産品のプレゼントがあります。
- ・市や大学等と連携し水力発電で棚田のイルミネーションを行っています。



田植えの様子

取組主体の紹介

すみやま棚田守る会

将来にわたって農業生産活動を維持するため、農村景観の保全に必要な棚田の持つ、多面的機能の発揮と特色ある農業の振興を図るために設立しました。

イベントに参加するには

体験に参加を希望する方・興味のある方は、以下の問い合わせ先までご連絡お願いいたします。

- ・取組主体等：伊万里グリーン・ツーリズム推進協議会
- ・問合せ先：0955-20-9031
- ・参考URL <http://www.kite-mite-imari.jp/main/456.html>



稲刈りの様子

日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産の地区で棚田ウォークラリーや案山子コンテストを楽しみながら農村を満喫！！

体験学習等のイベント内容

・日本の棚田百選に認定されたのを記念に、毎年9月に鬼木棚田まつりを開催しています。令和4年にはつなぐ棚田遺産にも選定されています。

・案山子コンテストをはじめ、枝豆収穫や新米すくい取り、農産物直売など田舎でしか味わえない催し物でまつりを盛り上げています。

・また、お昼にはだご汁を無料でサービスしている他、地元自慢の新鮮な野菜、鬼木みそなどの農産加工品なども販売しています。



鬼木棚田まつりの様子

取組主体の紹介

鬼木棚田協議会

平成11年7月に「日本の棚田百選」に認定されたことをきっかけとして、鬼木郷集落の全住民と耕作者によって「鬼木棚田協議会」を組織しました。約22ha、400枚という長崎県内でも最大規模を誇る棚田を、集落全戸の住民が総出で維持管理と景観管理に努めています。

イベントに参加するには

会場は「波佐見町鬼木郷（主会場／鬼木グラウンド）」で、近くの駐車場からシャトルバスが運行されています。

・取組主体等：鬼木棚田協議会 事務局（波佐見町役場内）

・問合せ先：0956-85-2111

鬼木棚田まつりの様子

美しい棚田の風景を保全する活動を通して農業農村を体験！！

体験学習等のイベント内容

- ・ イベントを開催する久木野地区には、100ha近い石垣の棚田があります。
- ・ この棚田に地域外の人から興味を持ってもらうために、自然素材のたいまつを2,000本立てて、美しい棚田の風景を楽しみながら、棚田に対しての関心を深めてもらう棚田のあかりをはじめ、HELP！田助手（たすけて）による荒れた棚田を手入れする合宿、大豆耕作団、石垣積み教室などを行っています。



棚田のあかりの様子

取組主体の紹介

久木野ふるさとセンター愛林館
水俣市久木野の村おこし施設として、JR久木野駅跡地を利用して1994年に建てられました。

「今後2,000年間、この地に人が住み森と棚田を守っていけるむらづくり」を目標として活動を行っています。

イベントに参加するには

愛林館に連絡を行うことで参加することができます。

- ・ 取組主体等：久木野ふるさとセンター愛林館
- ・ 問合せ先：0966-69-0485
- ・ 参考URL：<http://airinkan.org/tanada.html>



石積み教室の様子

閉校となった小学校を拠点にして様々なイベントや体験プログラムで農業農村を体験！！

体験学習等のイベント内容

- ・閉校となった旧一勝地第二小学校をリニューアルし、農林業の体験や自然に親しむ拠点としました。
- ・この拠点では地域活性化を目的に、収穫祭などの都市農村交流イベントの開催、まち歩きコースの作成による地域資源の発掘・情報発信、いちご狩りなどの野外体験活動プログラムの提供、宿泊施設を利用した集団宿泊等の誘致・受け入れ、郷土料理作りによる郷土料理の提供と継承、地域の農産物を使用した村特産品の開発と販売等の各種事業を行っています。



宿泊施設の様子

取組主体の紹介

田舎の体験交流館さんがうら
運営委員会

平成22年3月に135年の歴史を閉じた一勝地第二小学校に新たな風を吹き込み、農林業の体験や自然に親しむ拠点として、体験プログラムなどを提供しています。

イベントに参加するには

田舎の体験交流館さんがうらに連絡を行うことで参加することができます。各体験の料金はHPで確認できます。

- ・取組主体等：田舎の体験交流館 さんがうら
- ・問合せ先：0966-32-0443
- ・参考URL：<https://sangaura.com/>



収穫体験の様子

伝統祭事に参加しながら昔ながらの手植えでの田植えを体験！！

体験学習等のイベント内容

- ・御田植祭が開催される「田染荘」は、中世の荘園の姿が色濃く残っており、平成22年に国の重要な文化的景観、平成23年にはユネスコ未来遺産、平成25年には当地区を含む国東半島・宇佐地域が世界農業遺産、令和4年度にはつなぐ棚田遺産に登録されました。
- ・この御田植祭は、水田の1口オーナー（荘園領主）と地域の交流イベントで、田植えの前には田染荘とゆかりの深い宇佐神宮の神職による神事が行われ、中世の衣装を身に着けた人など、参加者が田んぼに入り、手植えでの田植えを体験することができます。



御田植祭の様子

取組主体の紹介

荘園の里推進委員会

平成11年に発足し、田染荘の景観保全や都市住民との交流、農業体験の取組を行っています。活動の内容が認められて地域づくり総務大臣表彰を平成22年に受賞しています。

イベントに参加するには

予約不要で参加することができます。
(衣装を借りる際は要予約・有料)

- ・問合せ先：荘園の里推進委員会
- ・電話番号：0978-26-2168
- ・参考URL：<https://tashibunoshou.blogspot.com/>



手植え体験の様子

オーナー制度による田植え、 収穫体験

・宮崎県／日南市
・開催時期：3月～8月、通年等

日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産の棚田オーナーとなり農作業、
農村の祭りを通じて農村を体験！！

体験学習等のイベント内容

- ・坂元棚田は、日本の棚田百選、つなぐ棚田遺産に選定されており、約110枚の田んぼの美しい景観を楽しむことができます。
- ・また、都市住民を対象とした棚田オーナー制度では、1オーナーあたり1アールの田んぼで田植えや、稲刈りを地元の人々との交流を楽しみながら体験することができます。
- ・また、3月に「棚田まつり」、12月に収穫祭も開催されて、郷土芸能なども見ることができます。



坂元棚田の風景

取組主体の紹介

坂元棚田保存会

平成18年に日南市で開催された第12回全国棚田サミットを契機に資源保全の意識が高まり、平成20年度より、集落内の各種協議会を統合して「坂元棚田保存会」を設立し、棚田の保全管理体制づくりとより一層の集落活性化に向けた取組を行っています。

イベントに参加するには

坂元棚田保存会に連絡を行い、オーナー（30組程度）になることによって参加することができます。

- ・申込先：坂元棚田保存会 日高さん
- ・問合せ先：0987-25-0355
- ・参考URL：<https://www.kankou-nichinan.jp/tourisms/242/>



田植え体験の様子

坂元棚田の全体的な問合せ先：日南市農政課0987-31-1132

後世に残すべき農業が残る地。知られざる日本の農村を感じる。

体験学習等のイベント内容

- ・宮崎県高千穂郷・椎葉山地域は平成27年12月に世界農業遺産に認定されています。
- ・世界農業遺産認定地域の3町2村が認定の背景を楽しくわかりやすい体験プログラムとして作成しており、棚田散策やジビエ料理体験、猟師体験、しいたけ収穫体験、SDGs体験などのプログラムを用意しています。
- ・日帰りから農村民泊と合わせた1泊2日～長期の行程まで、季節やご希望に合わせて実施します。
(国内外対応可)



つなぐ棚田遺産に選定された田が一面に並ぶ

取組主体の紹介

一般社団法人ツーリズム高千穂郷

農村民泊の推進と関係人口の増加を図る広域観光組織として、高千穂町、五ヶ瀬町、日之影町、椎葉村、諸塚村の5つの自治体と観光協会が連携し農業・文化体験など地域資源を活用した様々なプログラムを提供しています。

イベントに参加するには

一般社団法人ツーリズム高千穂郷

実施内容や時期についてはご連絡ください。

電話：0982-82-2199

メール：ftv@takachiho-go.jp

URL：<https://takachiho-go.jp>



国の重要無形文化財「夜神楽」を体験

「つなぐ棚田遺産」の棚田オーナーとなり、田植えから収穫までの農作業体験＋交流イベントで農村を満喫！！

体験学習等のイベント内容

- ・八重地区には、一つ一つ石を積み上げて作った240枚からなる棚田が山々の間に美しく広がっており「つなぐ棚田遺産」に選定されています。
- ・オーナー制度による田植えから収穫までの米づくり体験を実施するほか、冬には、地域の団体等と協同でLEDソーラーライトを設置し、石積みの棚田を幻想的なイルミネーションで美しく彩る「八重のきらめき」を開催しています。



八重地区の様子



収穫体験の様子



「八重のきらめき」の様子

取組主体の紹介

八重地区棚田保全委員会

平成14年に鹿児島県郡山町八重地区の住民で結成され、都市と農村の交流と棚田の保全を目的として、農業体験イベントを行っています。

イベントに参加するには

鹿児島市の広報誌「かごしま市民のひろば」や、ホームページ「かごしま市のグリーン・ツーリズム」にオーナー募集を掲載いたします。

- ・お問い合わせ先：鹿児島市世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課
- ・問合せ先：099-216-1371
- ・参考URL：<http://kago-greent.jp/agriculture-nature/26>

メダカが住む豊かな自然を感じながら、農業農村の季節の食材を満喫！

体験学習等のイベント内容

- ・尾木場地区では、生物の生息環境に配慮した水路やため池を整備し、また共同作業によって棚田の保全、ため池等の管理に努めています。
- ・このような尾木場の里山を散策しながら、たけのこ掘りと山菜狩りを楽しむことができます。
- ・収穫したたけのこや、山菜は持ち帰ることができるほか、昼食としておにぎりセットが用意されています。



尾木場棚田の様子

取組主体の紹介

尾木場めだかの里保全委員会

「めだかの里散策コース」として設定し、地域住民が一体となってめだかの泳ぐ棚田の保全などを行い、農村のすばらしい景観と豊かな自然の体験を提供しています。

イベントに参加するには

定員があるため事前連絡を行うことによって参加することができます。

・取組主体等：日置市東市支所産業建設課 農林水産係

・問合せ先：099-274-2114

・参考URL：

<https://www.city.hioki.kagoshima.jp/nousei01/event/20180408.html>



山菜狩りの様子